

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念を共有しているが、グループホームとしての理念がない	グループホームの理念を作る。	職場会議などで職員の意見を聞きながら、グループホームで入所者が安心して生活できるような理念を話し合い、箇条書きでも作成していく	3ヶ月
2	4	コロナ禍で、ほぼ書面開催となっている。地区会長、町内会長などの参加がない。	コロナが落ち着いてきたので、町内会長や、家族様の参加した推進会議ができるようにする。	次年度からは、家族様の参加も促せるように、開催の案内を出す。町内会長などへ、案内、挨拶へ行き、参加お願いする。	6ヶ月
3	45	入浴は一対一で行っているが、楽しめてるかどうかの反応がわからない。	入浴することが楽しめ、リラックスして入ってもらえるようにする。	入浴剤の使用や、のれんなど、温泉の雰囲気を出せる試みをする。入りたい時に入れるように、できるだけする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。